

あすなろ

昭和48年1月13日

第3種郵便物認可

HSK通巻253号

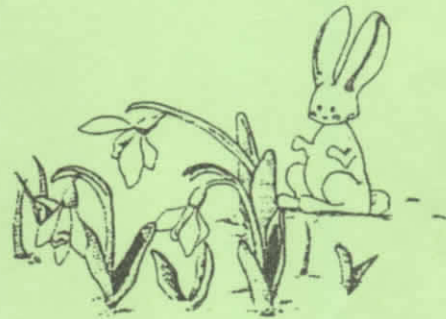
発行 平成5年4月10日

毎月10日発行

編集 あすなろ会

発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会

あすなろ会会報64号



総会に向かって お知らせ

新年会に参加して

深尾 貞子

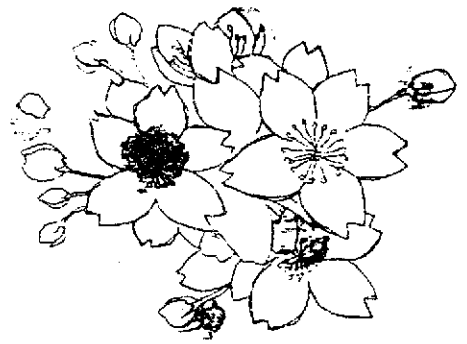
佐藤 和子

秋田難病連 斎藤 一様からのお便り

チャリティーバザー

会員 ひと言インタビュー

田中 士郎



総会のお知らせ

日時 6月6日(日)11時より

場所 北海道難病センター
札幌市中央区南4条西10丁目
552-3233

沢山の皆さんとお会いして、今年のアスナロ会の活動、皆さんとのお話楽しみにしています。

交通費について

市内の人は700円、市外の方はバス、自動車代の半額を負担します
お昼を用意します

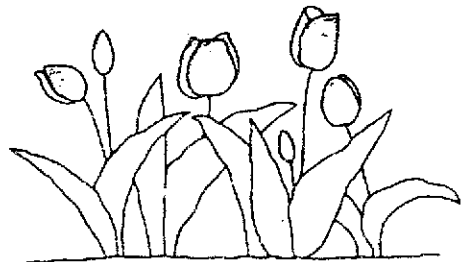
5月25日までに同封のはがきで、
ご返事をお願いします。

難連センターに宿泊を希望の方は記入を 何日かも

原正敏氏からご寄付を頂きました

アスナロ会初代会長、原たかさんが天にめされて、御家族はさびしい思いをされて
いられると、思います。心から御冥福をお祈りします。

¥3万円ご寄付頂きました



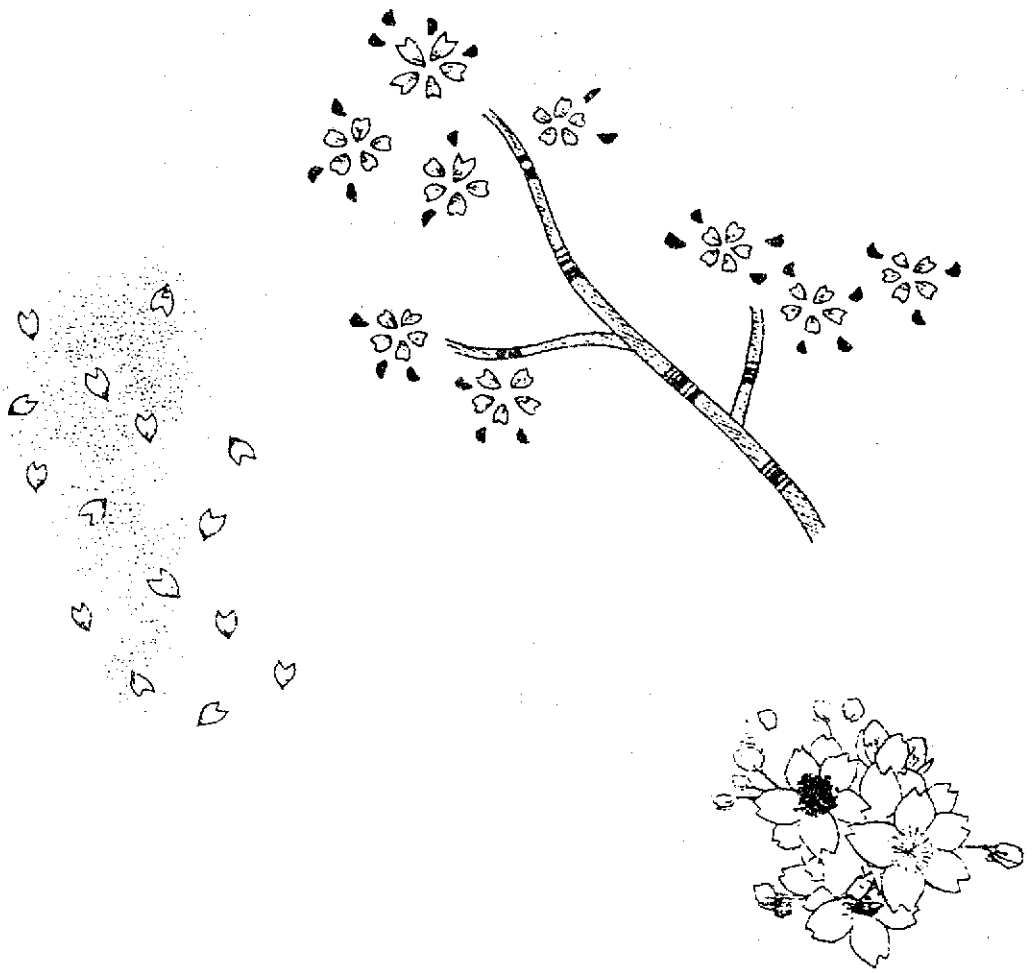
秋田難病連 齋藤 一様からのお便り

可愛い手造りの サンタさんありがとうございました。すぐご返事をと心しながら新年を迎えてしまいました。ご免なさいね深沢さんなん病と仲良く頑張っておられるようですがその後いかがお過ごしのことでしょうか。私の病名は後従靭帯骨化症、昭和62年7月24日診断されました。秋田なん病連には同病のお友達がおりませんでしたが一昨年北海道なん病連への研修旅行に参加して初めて同病の方を紹介され、いろいろ互いに語り合い資料などいただいてきました。以来県内各地に開かれてきましたなん病連の行事にあすなる会世話人として参加し多くの病名の方たちとふれあいの時を持ってきました。昨年2名の同名病とお逢いして語り合うことが出来ました。各地域を巡回することから、こんなにも異なった病を持った方々がおられるのかと驚きました。現在会員は20名ですが10種類の病名があります。なんとかして私が動ける間お友達のお役に立てたらと、指導をいただきながらヨチヨチ歩きをしております。会員は県内全域に散らばっておりますので、なかなかまとまった集会ができず、折角の会ですので、有名無実にならないようにと、一つひとつ考えながら、あせらずに時間をかけて進んでいこうと思っております。なにか参考になるようなものがございましたらお知らせ下さい。中には遠くから家族全員で拙宅を訪ねてこられた方もあり、今では家族ぐるみのおつき合いを続けております。深沢さんのご年も分かりませんが、思いのままに書かせていただきました。失礼の点はお許し下さい。

お元気な日々、希望を持って前向きになってお過ごし下さい。

平成5年1月2日 深沢 幸子 様

秋田県難病連 あすなる会
齋藤 一



チャリティーバザーに参加して

難病センターのチャリティーバザーは大盛況でした。

沢山集まってきた、色々の数多い品々を、品わけして、場所が狭いので何度も積み直しプロのお店寄りも楽しい見事なかざりつけて開店しました。

開店前は大勢の人がバス停まで並んで、大にぎわいでした。わたしは婦人服の売り場した。忙しかったですが、とぶように売れたので楽しかったです。

他の部会の人、ボランティアの学生さんとお話もして、よい一日を過ごしました。

参加した人、買ってくれた人御苦労さまでした。

(深沢 幸子)

美味しかった雑煮

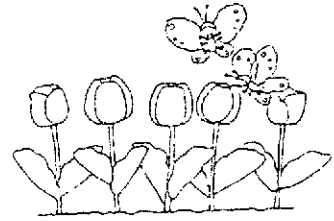
・再会を楽しむにして・

札幌 深尾貞子

あすなろ会の皆様。1993年の新しい年をどんなお気持ちでお迎えになられましたか。お互いに人には言えない辛い苦しい体、この体を少しでも自分自身でいたわり気持ちを明るいほうへ持っていくようにしながらこれからの一年を励まし合い頑張っていきましょう。冬になり雪が降りましてから道路は氷のようでまったく危険で一步も歩くことが出来ず、来る日も来る日も窓から上手に歩く人や車を羨ましく眺める日々、そんな私も1月17日のあすなろの新年会には近所の方に助けられ車を拾って戴き出席させて戴き久方振りですストレス解消をさせて戴きました。

深沢さん始め役員の方々のお優しいおもいやりのお気持ちがお料理その他の数々ににじみ出て居りまして感激いたしました。お忙しい中を美味しい手料理を数々作って下さいました上にお雑煮の素晴らしく美味しかったこと、完備していない調理場でお餅を焼いて下さいましたご苦勞は改めて感謝申し上げます。西田様も本年お雑煮は初めてですと嬉んで居られましたが実は私も初めてのお雑煮なのでした。お供餅は作って戴きましたが三ヶ月が終わってそれを下ろしてからそのお餅で自分の作るべく本年はのし餅は注文いた

しませんでした。材料を求めますのも大変ですし、お恥ずかしい話しですがあのお雑煮は殊のほか素晴らしく美味しく又有り難い気持ちで一杯でした。ご面倒なものを私共に少しでも嬉こんで戴きたいとのお心、真実に勿体ない気持ちで胸も一杯でした。



初めての方も4・5名お見えになり和気あいあいの中にカラオケも聞かせ、戴き予定の二時間があつと言う間に過ぎ、百人一首のくじ引きまで用意してくださり、至れりつくせりのおもてなしを戴き、又の再会を約して名残りを惜しんでお別れいたして参りました。

皆それぞれに御病氣をお持ちですので役員をお引き受けいたしましたばかりに大変なお心使いをさせまして全く申し訳なく心の中で手を掌て参りました。難連の長谷川様、大塚様にも日曜日でしたのに大変お世話をおかけ致し改めて厚くお礼を申し上げます。

日の経ますは過ぎて仕舞いますと驚く程早いものですがこれからの一年を想いますと365日は長いと思います。これからのどの日にも皆様の上にお幸が有ります様にお祈りさせて戴きながら新年会のお礼をさせて戴きます。

楽しかったあすなろ新年会

1月17日（日）午前11時から難病センターであすなろ会の新年会を開きました。17人が参加し自己紹介、くじ引き、カラオケなど楽しい時を過ごしました。2人からお便りが来ています。ちょっと小さい字ですが紹介します。

家族に励まされ

病気に負けず闘う。

江別 佐藤和子

こんにちは、私は先日あすなろ会の新年会に出席させていただいた 佐藤和子です。

昨年の秋に、地元の保健婦さんに勧められ難病連の資料を送っていただき、主人と一緒にセンターに行きまして入会させていただきました。

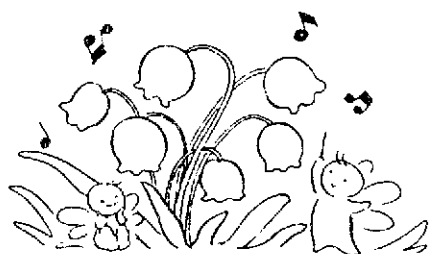
初めて行事に参加したのは「多発性硬化症医療講演会」でした。それから「クリスマスパーティー」と今回の新年会で三度目です。私は今回一番感じたことは、大変な病気を持っていながら、皆さんとっても陽気で明るいことや、本当に自分の病気を良く理解し、一生懸命生きている姿に感動いたしました。

私も五年前「多発性硬化症」と診断され、その後入退院を繰り返し病気と闘って参りました。そのつどあらゆる検査も多くさん致しましたが原因が分からず家族共々辛く、苦しい日々が続いた時期もありました。

けれども主人や子供達に励まされながら今日まで頑張って乗り越えて来ま

した。

主人はとっても優しい人で私が入院中も家事はもちろんのこと病院へ毎日来てくれました。仕事、子供達の食事の支度、病院と一人三役で毎日大変でした。それは今でも変わらず、私の身の回りのことや、外出する時、旅行など自分から進んで計画を立て、大義がる私を誘ってくれるのでとっても感謝しています。



体と言うのは微妙で、複雑で、自分の体であってそうでないみたいな気がすることがあります。病気なんかもう大嫌いと思っても病気のほうから予告なしで そおーっと私の体にしのび込んでくるので逃げるのが出来ないものネ・・・？

でも今は体の状態は落ち着いているので希望を捨てないで、病気にも負けないで闘っていきたいと思っています。

会員インタビュー
(第5回)

今回は、先月お送りした臨時号——多発性硬化症医療講演会要旨——で、ご活躍された田中士郎さんです。

◎臨時号の編集、大変ご苦労様でした。

田中・・・いいえ。深澤さん、岡部さんに手伝ってもらってできたものです。

◎私も含めて、多発性硬化症（以下MS）の患者にとっては病気のことが、とてもよくまとまっていてありがたかったですね。講演を聴けなかった方々もずいぶんと参考になることがあり、次回はぜひ出席しようと思われた方も多いのではと思います。

テープおこし（録音したものを文章にする作業）は、とても忍耐のある仕事、とても大変な仕事です。田中さんの気合のこもった臨時号でした。改めてありがとうございました。

それでは自己紹介をお願いします。

田中・・・昭和27年に大阪で生まれました。50年北大農学部を卒業し、その翌年MSを発病し5年くらい入院生活が続きました。現在は、コンピューターソフト会社に勤務しています。

◎田中さんは杖や車椅子を使用されていますが、通勤はどの様に？

田中・・・バスやタクシーを使ったり、たまに父に車で送ってもらう時もあります。

◎バスを使うんですか！私も一度交通機関を使って目的地まで行ってみたいのですが、まだ実行できませんね。なかなか大変な事です。

ところで、あすなる会にはいつ、どのようなきっかけで入会されましたか？

田中・・・全道集会に参加したのがきっかけで、平成3年に入会しました。

◎全道集会では多くの人との出会いがあり、様々な事のきっかけにもなるんでしょうね。やはり貴重な行事なのですね。

趣味や特技は？

田中・・・アマチュア無線ですね。中学生の時からですので、もう20数年やっていますが、最近は機会がなくて・・・。

◎お仕事忙しいのですか？

田中・・・バブル崩壊のため自宅待機が多くなり、他にアルバイトもしなくてはならなくなって、無線機には埃がかかっています。

◎そうですか、残念ですね。では、最近感動したことってありますか。

田中・・・昨年、千葉県で身障者のアビリンピック・パソコン部門に出場しました。全国からたくさんの方が集まってきていて“職業を求めている人が大勢いるんだなあ”と思いました。

◎アビリンピックというのは？

田中・・・身障者が自分のもつ技術—— 洋裁、和裁や電話交換などを競う大会です。

◎会員の皆さんの中でもなにか技術をもっている方は、そういった大会に参加してみませんか。トライしてみてください。

現在、田中さんはMSの患者会を作ろうとがんばっていらっしゃいますね。

田中・・・臨時号でもお伝えしたようにMSはあすなろ会の中でも患者数が多く、医療講演会の反応をみても、患者同志が集まって何かやっていかなければとおもいます。

この病気に限りませんが、社会的な活動や就労問題、年金の問題—— 私は学生のころ発病した為、障害年金を受給できません。こういった経済的な基盤を固めるには、患者会がまとまって何かしていかなければと思ったわけです。

◎最後にあすなろ会の皆さんにメッセージを。

田中・・・とにかく「いっしょにがんばりましょう」しかないですね。

最近、「何か言わなくてはいけないのに言えない」「なにかあると黙ってしまう」ということが、患者の中に多いのではないのでしょうか。もっと言いたいことを言えるようになろう。本当にみんな思っていることを堂々と話してがんばっていきましょう！

◎ありがとうございました。今回は電話でのインタビューでした。田中さんは病気の影響で話すのが大変なのに、なかなか上手に聞き取れずに時間をおかけしてしまいましたが、不自由さを感じさせない熱のこもった答えをしていただきました。どうもごくろうさまでした。

平成5年会費納入お願い

あすなる会はみなさんの会費で活動をしています同封の振り込み用紙でお願いいたします

総会

平成5年6月6日(日) 10時
難病連センター 3F

(詳しくは本文で)

後記

あすなる会も新年度を迎え、今年が活動が始まります。皆さんの参加があつての活動ですので、沢山の人たちとの、ふれあいを楽しみしております。

総会は今年の活動を検討しきめます。会員が助け合つてそれぞれできるところで、参加ができると良いと思っています。

集まったら楽しい事が有るように願っています。

出かけて来る事は、体調が悪かったり、お天気が悪かったりで、困った事が多々有りますが、元気な気持ちを見せてくれるだけでもまわりの人々は楽しい気持ちになります。

難病連の行事は北海道の各地から、集まってくるので珍しいはなしを聞くことも話して上げることも有ります。

今年は20周年の行事が色々あります。大変な苦勞の疲れも、あるかもしれませんが、それ以上に楽しい事を見つけるつもりでがんばります。

(記 深沢 幸子)

編集人 個人参加難病患者の会

昭和48年1月13日

第3種郵便物認可

札幌市中央区南5条西10丁目

発行 平成5年4月10日

難病センター内(512-3233) HSK通巻253号

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子

(毎月1回10日発行) 1部100円(会員は会費に含まれる)